



《校訓》 明朗 剛健 創造  
**太田中だより**

令和5年12月22日発行 厚岸町立太田中学校 第10号

～めざす生徒像～

自ら考え、共に手を取り、ふるさとの未来をつくる太田の子

- ◆ 自分の考えをもち、自ら進んで学び、創意工夫する生徒 (知)
- ◆ 生命を尊重し、互いの存在を思いやり、協力して活動する生徒 (徳)
- ◆ 自己の心身の健康を保持増進し、体力の向上に努める生徒 (体)

～太田中学校ホームページへ～

日常の教育活動の様子をはじめ、学校情報が掲載されております。右のQRコードやインターネットで、「太田中学校ホームページ」などと検索してアクセスしてみてください。



『非認知能力』を高めよう！

校長 小林 香 織

2学期も最終日を迎えました。本日、手渡された通知表は、4月から12月までの9ヶ月間の生徒の努力の結晶です。評定の数字に一喜一憂するのではなく、明日から始まる冬休みから3学期をどのように過ごすかを考える資料の1つにしてほしいと思います。

☆ ☆ ☆

さて、タイトルにある「非認知能力」。聞いたことがあるでしょうか？人間の能力には、「認知能力」と「非認知能力」と呼ばれる2種類の能力があります。「認知能力」とは、テストで測ることのできる能力。学力や知能指数、運動能力などです。それに対し「非認知能力」というのは、テストでは測ることが難しく、数値化されにくい内面的な能力です。具体的には「目標を決めて取り組む」「意欲を見せる」「まわりの人と円滑なコミュニケーションをとる」のような能力です。「テストで測ることができるのは人間の持っている能力の一部である」とよく言われますが、その通りなんです。

この「非認知能力」というのはとても幅広く、一例を紹介すると右の表のようになります。「非認知能力」の1つである「我慢する力」について、スタンフォード大学の心理学者ウォルター・ミシェルが行った実験の1つに「マシュマロ・テスト」というのがあります。これは、4～5歳の子供たちの目の前にマシュマロをお皿に1つ入れて置き、「私が戻るまで、マシュマロを食べずに我慢できたら、もう1つあげます。」と言って実験者は部屋を出て行き、15分程の我慢を子供たちは強いられます。1/3の子供たちは我慢できましたが、2/3の子供たちは目の前のマシュマロを食べてしまいました。



実はこの実験、これだけで終わりません。マシュマロテストが行われた1972年から18年後の1990年に再調査を行い、当時の実験に参加した子供たちに学力テストを行ったところ、我慢できなかった子供たちよりも、我慢できた子供たちの点数が高いことがわかりました。さらに21年後の2011年に、実験に参加した子供たちが40代半ばになった時点で脳の検査をしたところ、我慢できた子供たちの脳は、計画や社会行動の調節に関係する前頭前野が、我慢できなかった子供たちよりもより活発に働くことがわかりました。

この結果から、我慢できた子供たちは「ただ我慢」をしたのではなく、「先を見通した我慢」をしたことがよくわかります。これには自制心、想像力、集中力など様々な「非認知能力」が求められます。

では本校の生徒はどうでしょうか？「家庭学習をやらなければ…」でも「ゲームをやりたい」「推しの動画を見たい」…。どちらを優先するか、「マシュマロ・テスト」と同じです。未来の自分を想像することができればたぶん「家庭学習」を選択するはず。またやる気や工夫をする力があれば「家庭学習を早く終えて自分のやりたいことをする時間を作る」など自分の時間を有効に使うことができるはず。これらは自分の人生の先を見通すからこそできるのです。「今が楽しければ、未来はどうなっても良い」では困りますよね。

☆ ☆ ☆

一口に我慢といっても、「受け身の我慢」と「自発的な我慢」では大きく違います。「親に怒られるから」「先生に注意されるから」ではなく、自分の未来を考えて行動できる「自発的な我慢（非認知能力）」を高めたいものです。そして「認知能力」と「非認知能力」は、互いに関係しあいながら高まります。学校では、行事や総合的な学習など様々な活動を通じて学力や体力と共に、子供たちの「非認知能力」も高まるように様々な働きかけを行っています。

明日からの冬休みは普段と違って時間割がありません。クリスマスや正月など、楽しいことも待っています。子供たちの自制心ややり抜く力、計画性など「非認知能力」が試される時です。ご家庭でも子供たちの過ごし方や様子を見て、「非認知能力」について話をしてみてください。それでは、良い年をお迎え下さい。

**目標!**



非認知能力の一部

名前	具体的能力
自己認識	やり抜く力、自分を信じる力、自己肯定感
意欲	学習志向性、やる気、集中力
忍耐力	ねばり強くがんばる力
セルフコントロール	自制心、理性、精神力
メタ認知	客観的思考力、判断力、行動力
社会的能力	リーダーシップ、協調性、思いやり
対応力	応用力、楽観性、失敗から学ぶ力
クリエイティブ	創造力、工夫をする力

※「行動の記録」等でみられる文言と似てませんか？

1月 行事予定表

日	曜	学校行事等	下校バス
1	月	元旦 学校閉庁日	冬季休業
2	火	学校閉庁日	
3	水	学校閉庁日	
4	木	学校閉庁日	
5	金	学校閉庁日	
6	土	週休日	
7	日	週休日	
8	月	成人の日	
9	火	Lタイム	
10	水	Lタイム	
11	木	Lタイム	
12	金	Lタイム	
13	土	週休日	
14	日	週休日	
15	月		
16	火	分掌部会 運営委員会 職員会議	
17	水	3学期始業式 修了写真撮影 ALT バス乗車指導 定時退勤日	16:10
18	木	委員会	16:40
19	金	英語検定 生活リズムチェックシート記入指導	16:10
20	土	週休日	
21	日	週休日	
22	月	朝会 ALT 生活リズムチェック(29日まで)	16:10
23	火	研修	15:30
24	水	職員会議 タンチョウ調査⑥ 図書バス ALT 定時退勤日	15:30
25	木	委員会	16:40
26	金	総合キャリア発表会(参観日・懇談会)	14:30
27	土		
28	日		
29	月	職員会議	15:30
30	火	朝学習(3年 ~2月2日まで)	16:10
31	水	ALT 定時退勤日	16:10



## スクールカウンセラーによる “ピアサポート第2弾”

11月29日、スクールカウンセラーの佐々木先生による今年度2回目のピアサポートの授業を全校生徒対象に行いました。自分の長所をたくさん見つけたり、相手も自分も傷つけない断り方のスキルを身に付ける体験活動を行いました。人間関係形成における望ましいあり方などについて学習を進めています。

また、生徒発達支援シート『ほっと』や自殺予防プログラムにある『心と身体のチェックリスト』の結果をもとに、生徒への対応について適宜ご助言をいただいております。子どものSOSを受け止めて心のケアに繋げていけるようにしたいと思います。来校時には生徒向けのお便りもいただいております。今後もスクールカウンセラーの有効な活用に努めてまいります。



## 救命救急講習 ～エピペンの使用～

11月28日、厚岸東部消防本部の方に講師となっただき、蜂刺されや食物などのアレルギーによるアナフィラキシーに関わる救命救急講習を教職員が受講しました。エピペンの対応など万が一に備えて今回講習を実施し、どの教員も保護者の同意のもと、いざというときに使用できる体制を整えました。



## 小学校6年生への乗入授業 ～理科～

11日に今季4回目の乗入授業を理科で行いました。6年生は楽しく実験に取り組み、中学校で学ぶことを大変楽しみにしている様子が伺えました。さて、2月6日は音楽を予定しております。また、新入生保護者説明会や総合キャリア発表会なども予定しています。



## JA釧路太田様より お歳暮をいただきました!

15日に職員の方が来校され、みかんを1箱いただきました。早速給食で1つずついただき、残った分は生徒と教職員で分けておいしくいただきました。ありがとうございました。



## 租税教室(3年生対象)

7日に厚岸町役場の税務課の方を講師に迎えて租税教室を行いました。公民の学習で税について学んでいるところで、専門家の方から詳しく説明していただき理解を深めることができました。



## 社会を明るくする運動標語コンクール 3名入賞!

【いじめ・非行防止部門】

- 《入選》 [Redacted] 「気づかない?言葉のナイフの鋭さに」  
[Redacted] 「いじりでも 傷ついている 人がいる」
- 《佳作》 [Redacted] 「『好奇心』 その一言じゃ 済まされない」

【交通安全部門】

- 《佳作》 [Redacted] 「ヘルメット あるとないとじゃ 大ちがい」



\*\*\*\*\*

## 冬休みに向けて

短い3学期に、1・2年生は進級を、3年生は受検とその先の進路を意識した生活を送るためにも、この冬休みは有意義に過ごしてほしいものです。

さて、本校は、下記の期間を学校閉庁日と決めました。緊急の事があった場合は、厚岸町役場にご連絡ください。

**学校閉庁日 令和5年12月29日(金)～令和6年1月5日(金)**

## 《ご家庭での過ごし方について》

休み中の生活習慣の乱れは3学期にしわ寄せが来ます。クリスマスやお正月、家族旅行等はさておき、規則正しい生活をして学習や運動はもとより家の手伝いなどは1日の生活設計の中に組み入れてほしいです。

また、家庭で過ごす時間が増えます。ゲームや Youtube などメディアに触れる時間が膨大することは避けるよう、生徒本人の自覚はもちろん保護者の方々のご協力もよろしくお願いたします。利用について課題のあるご家庭は、これを機会に家庭のルールを作ってみてはいかがでしょうか。それから、読書や自由研究、これまでの学習における苦手分野の克服など、長期休業だからこそ取り組めることにも挑戦してほしいと思います。

\*\*\*\*\*

今年中は大変お世話になりました。令和6年もよろしくお願いたします。

生徒の皆さん、1月17日(水)无気に再会しましょう!



